

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●秋華賞ではクロノジェネシスがG I 初制覇を果たす

10月13日(日)に行われた秋華賞(G I)ではクロノジェネシス(牝3歳/栗東・斉藤崇史厩舎)が勝利、G I 初制覇を果たしました。同馬を管理する斉藤崇史調教師にとっても初のG I 制覇となります。

●大野拓弥騎手がJRA通算1万回騎乗を達成

10月15日(火)の4回東京3日(代替競馬)・第4レースでニュートンテソーロに騎乗した大野拓弥騎手(美浦・フリー)は、この騎乗で史上39人目、現役では26人目となるJRA通算1万回騎乗を達成しました。

●義英真騎手が引退

義英真騎手(栗東・フリー)が、10月10日(木)付で引退しました。JRA通算成績は2255戦63勝でした。

●ジョッキークイーンズ決勝大会が開催される

台風の影響で10月13日(日)の東京競馬が中止となり、全国ポニー競馬選手権「第11回ジョッキークイーンズ」決勝大会も翌14日(祝・月)に順延のうえ、最終レース終了後、東京競馬場の芝コース・直線400mを舞台として開催されました。全国8か所の地区代表決定戦・選考会で選出された8名が出演し、優勝したのは長野地区代表の佐野遥久くん(中学1年生・小林ファーム)でした。

●サトノアレスらの競走馬登録抹消

2016年朝日杯フューチュリティS(G I)の勝ち馬サトノアレス(牡5歳/美浦・藤沢和雄厩舎/JRA通算16戦4勝)、2017年川崎記念(Jpn I)などの勝ち馬オールブラッシュ(牡7歳/栗東・村山明厩舎/JRA通算21戦5勝・地方15戦2勝)、2019年サンケイスポーツ賞フローラS(G II)の勝ち馬ウィクトーリア(牝3歳/美浦・小島茂之厩舎/JRA通算7戦3勝)は、10月16日(水)までに競走馬登録を抹消されました。サトノアレスは北海道日高町のブリーダーズ・スタリオン・ステーションで種牡馬、ウィクトーリアは北海道安平町のノーザンファームで繁殖馬となり、オールブラッシュは地方・船橋競馬に移籍する予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●南部杯(盛岡)でサンライズノヴァがJpn I 初制覇

マイルチャンピオンシップ南部杯(Jpn I、10月14日、盛岡、1600m)は、7番手から差を詰めた4番人気のサンライズノヴァ(吉原寛人騎手=金沢、牡5歳、父ゴールドアリュール)が残り200mを切った辺りで差し切り、Jpn I 初制覇を果たしました。2番人気のアルクトスが2着に入り、単勝1.3倍で圧倒的人気のゴールドドリームは3着、逃げた3番人気のロンドンタウンは5着、ミツバは6着、オールブラッシュは7着、ノボバカラは8着に敗れています。

●ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド名古屋の結果

2019ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド名古屋は10月16日に実施され、第1戦は服部寿希騎手(栗東)、第2戦は西村淳也騎手(栗東)が優勝しています。

●ミスカゴシマが佐賀で大差勝ち【各地の主要2歳重賞】

九州ジュニアチャンピオン(10月6日、佐賀、1400m)は、序盤逃げ、途中一旦2番手に下げたミスカゴシマ(牝、父トーセンブライト)が3コーナー手前で先頭を奪い返すと、後続を2秒1も引き離し、単勝元返しの支持に応えました。園田プリンセスC(9月26日、園田、1400m、牝馬)は、先手を取った1番人気の船橋からの遠征馬スティローザ(父トランセンド)が2馬身半差で逃げ切り勝ち。金沢プリンセスC(9月29日、金沢、1400m、牝馬)は、逃げた3番人気の北海道からの移籍馬ハイタッチガール(父フリオソ)が8馬身差で圧勝。サンライズC(10月3日、門別、1800m)は、後方から追い上げた5番人気のティーズダンク(牡、父スマートファルコン)がゴール前で差し切っています。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1 コーフィールドS~ケーブオブグッドホープがG1 初制覇

10月12日にオーストラリアのコーフィールド競馬場で行われたG1 コーフィールドS(3歳上、芝2000m)はケーブオブグッドホープ(牡3歳=現地年齢表記4歳、父ガリレオ)がM. ザーラ騎手を背に差し切り勝ち。アイルランドのA. オブライエン厩舎からオーストラリアのD&Bヘイズ&T. デイバーニッグ厩舎に移籍しての初戦でいきなりG1 初制覇を果たしました。日本から参戦したズカデヴィアスは最後方から追い上げましたが8着でした。なお、この2レース後に行われたG1 トゥーラックH(2歳上、芝1600m)では日本産馬のフィアースインパクト(牡5歳=現地年齢表記6歳、M. スミス厩舎)がG1 初制覇。父はディーブインパクト、母はカペラス(G III)、プロキオンS(G III)優勝のケイアイガーベラ、全弟はNHKマイルC(G I)優勝のケイアイノーテックという血統です。

●G1 デューハーストS~ピナツボが人気に応える

イギリスのニューマーケット競馬場で行われたG1 デューハーストS(2歳牡牝、芝1400m)は単勝1.33倍の圧倒的な1番人気に推されたピナツボ(牡、父シャマーダル、C. アップルビー厩舎)が差して2馬身差の快勝。今年5月のデビューから6連勝としました。重賞は7月のG2 ヴィンテージS(芝1400m、5馬身差)、9月のG1 愛ナショナルS(芝1400m、9馬身差)に続く3勝目です。